

組 取 の 報 広

雄大に流れる信濃川の魅力や「令和の大改修」による大河津分水の事業効果をより広く知ってもらうため、様々な取り組みを行っています。

OHKOUZU day R5.8.25



現地と会場をウェブで結んだバーチャル見学会や、可動堰等のライトアップイベントを実施しました。なお、大河津分水通水100周年事業として開催した令和4年度からの一連のイベントに対し、土木広報大賞の準優秀部門賞（イベント部門）を受賞しました。

信濃川サミット R5.11.22



信濃川流域の7つの小学生の皆さんから、川の学習成果と多くの人から親しまれる未来の川についてアイデアや想いなどを発表していただきました。

合格通水石の配布 R6.2.14



受験シーズンを前に、若手職員が手作りによる「合格通水石」を作成し、受験生を応援しました。

信濃川・大河津分水写真コンテスト R5.7～



令和5年度も多数の応募の中から、厳正な審査を経て優秀作品が選ばれ、その作品を流域自治体持ち回りで展示しました。

全健賞 受賞 R5.6月

大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年記念 未来につながる事業

受賞機関：国土交通省北陸地方整備局 信濃川河川事務所・信濃川下流河川事務所・大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年未来につながる事業実行委員会

主催：一般社団法人 全日本建設技術協会

全健賞とは、我が国の良質な社会資本整備の推進と建設技術の発展を促進するために設けられたものです。

評価のポイント

大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年記念事業の取組。行政側からの発信のみではなく、NPO、商工会議所と連携し、地域の小学生も参加、発信するなど地域協働型での周年記念イベント実施により、河川事業への地域の理解をより高める広報活動とした点や、従来までの継続的な取組が地域協働型周年行事を推進していること、「歴史を知る」、「つながりを創る」、「未来を考える」というコンセプトを明快にしなが推進していることが評価された。



（一般枠）河川部門 表彰



土木広報大賞 受賞 R6.2月



土木広報
大賞2023

準優秀部門賞【イベント部門】

国土交通省 北陸地方整備局 信濃川河川事務所
OHKOUZUday～大河津分水の日～

主催：公益社団法人 土木学会 土木広報センター

準優秀賞 イベント部門 受賞

「土木広報大賞2023」は、日本全国の各地域で展開されている様々な広報のうち、暮らしを支えている「土木」の役割・意義・魅力について広報を行っている活動または作品などで他団体の模範となるもの、他団体への展開が期待されるものなどを取り上げ、顕彰することを目的とした「土木の広報に関するコンテスト」です。

受賞一覧



準優秀部門賞（11団体）

